

文部科学省「大学教育再生加速プログラム(AP)」※に採択された大阪工業大学の取組

本学では従来、3つのポリシー整備や教育課程の改善、FD推進など、教育改革に多角的に取り組んできました。平成28年3月には学長方針として「適正な成績評価基準に基づく厳正な成績評価」が掲げられ、ミニマム・リクワイアメントの明確化など、教育の質保証をめざす全学的取組を推進しています。

今回のAP事業では、改革をさらに加速させるため、独自の「ディプロマ・サブリエメント・教育IRシステム」を構築し、学生の学修成果可視化と修学指導の充実を図ります。また、企業や卒業生からのフィードバックを活用し、社会のニーズに合う“工大質保証”をめざします。



※「大学教育再生加速プログラム(AP) テーマV-卒業時における質保証の取組の強化」とは…

大学教育の質的転換の加速を促し、大学の人材養成機能の抜本的強化を図るため、我が国の高等教育の共通課題に取り組む大学を、文部科学省が支援する事業。平成28年度には「テーマV」の応募が行われ、卒業段階で学生が身につけた力を客観的に評価する仕組みや学修成果を社会に提示する効果的な手法等を開発し、学外の多様な人材との協働により教育の質保証に取り組む大学の公募が行われました。大阪工業大学は全国の応募大学116校から関西の私立大学としては唯一採択されました。

個別修学指導

教員は定期的に学生と個別面談を行い、ディプロマ・サブリエメント・システムを用いて「OIT学士力」の獲得状況をフィードバックし、進級・卒業に向けて、科目履修や学修経験の助言など修学指導を行い、主体的な学びや授業外学修等を促進する。

キャリア形成支援講座

OIT学士力(卒業生が身につけるべき力)の説明や伸ばし方を考えるキャリア形成支援講座を行い、学生の成長意欲や主体性を高める。

客観的・
実効的な、制度点検・
管理の徹底

卒業生や企業等への調査

卒業生に、大学での学修成果が今の職場でどのように生かされているかについて調査を行う。また、卒業生の就職先企業に満足度調査を行い、本学教育の成果と課題を把握・分析し、教育改善のサイクルを確立する。

ディプロマ・ポリシーの改定

上記の調査結果を参考に、学生が身につけるべき資質・能力を明確化する。また、学外人材も含む委員会で、社会が卒業生に求める学士力について審議し、ディプロマ・ポリシーを改定する。

工大 質保証

効果的可視化
による修学指導・
キャリア支援の充実

各授業科目の成績評価基準の明確化

各科目で最低限度到達すべき水準「ミニマム・リクワイアメント」を学生に明示し、その達成を単位取得の必須条件とする。さらに、学修サポート体制を充実させ、学力定着を図った上で、進級・卒業認定を厳正化する。

制度改革による
学力伸長・
定着の促進

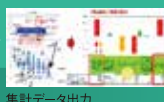
- 成績評価
- 履修情報
- 学修行動データ
- 入試情報
- 就職情報
- 授業アンケートデータ etc.

ディプロマ・サブリエメント・システム



本システムにより、各学生の学修成果やOIT学士力の獲得状況を可視化し、学生自身の主体的な学修促進と、教員による修学指導の充実を図る。

教育IRシステム



DSシステムや学内システムに蓄積された様々な情報を一元管理したデータベース(教育IRシステム)により、さらなる教育改善に向けた分析・提案を行う。

これらのシステムの活用により、全教職員協働による学生支援を充実させ、“工大質保証(卒業時における質保証)”を達成する。